2 次の各問い（問１～問３）に答えなさい。

学習指導要領（2）- 知・技 - イ
学習内容（2）- イ 情報デザインと役割

問１ 次の文章を読み，空欄に入る最も適切な語句または，文を選択肢の中から選び，その番号をマークしなさい。

(1) 障害のある人や高齢者には，マウスをクリックしたりディスプレイの文字を読んだりすることが難しい場合がある。このようなことに配慮して設計されたデザインを［ア］という。また，年齢，性別，国籍などの違いに関わらず，多くの人が柔軟に直感的に使えるように設計されたデザインを［イ］という。コンピュータにおけるこのような使い勝手のよさのことを［ウ］といい，情報技術の開発では［ウ］を念頭に置いた改善が欠かせない。なお，記号が同じ空欄には同じ語句が入るものとする。

［ア］～［ウ］に入る選択肢

① UX デザイン
② ユニバーサルデザイン
③ バリアフリーデザイン
④ グラフィックデザイン
⑤ 人間中心設計
⑥ アクセシビリティ
⑦ ユーザビリティ
⑧ サスティナビリティ
⑨ ファインダビリティ

(2) ［ア］や［イ］の考え方が活用されているものとして正しいものは［エ］である。

［エ］に入る選択肢

① メロディ信号機，ワイヤーフレーム
② スロープ，SEO 対策
③ 点字ブロック，シャンプーのボトル
④ 多目的トイレ，Web ページ上のドロップシャドウを用いたボタン

(3) [ウ] を念頭に置いたアプリケーションを作成するときの留意点として，最も適切なものは [オ] である。

[オ] に入る選択肢

① 評価の高いアプリケーションのデザインを模倣する
② 誤動作を防ぐために操作方法を制限する
③ できるだけ多くの色を使い，目立つデザインにする
④ 実世界との混同を防ぐため，実世界にはないデザインにする
⑤ 操作方法に一貫性をもたせるためにマルチデバイスで統一されたデザインにする

学習指導要領（1）- 知・技 - ア
学習内容（1）- ア 問題を発見・解決する方法

問 2　次の文章を読み，信憑性を確認する手段として<u>適切ではない</u>ものを選択肢の中から選び，その番号をマークしなさい。 [カ]

インターネットには多くの有益な情報が存在している。しかし，誰でも自由に情報を発信することができるため，発信者の不注意による誤った情報や内容に偏りのある情報，真実ではない情報を意図的に発信している場合もある。このことからインターネットの情報は，信憑性が保証されているとはいえない。

選択肢

① 情報発信者について調べる
② 情報発信者の連絡先がわかっている場合は，情報発信者に連絡し直接確認する
③ 一次情報を探して比較する
④ 同じ内容を扱った別の記事の内容と比較する
⑤ 別の偽情報を自らインターネットに発信し，受信者の反応を確認する

問３　次の文章を読み，空欄に入る最も適切な語句を選択肢の中から選び，その番号をマークしなさい。

(1) 情報社会では，ネットワークを通して個人の情報が頻繁にやり取りされる。私たちが安全で便利な生活をするためには，国や企業はもとより，私たち一人ひとりが，個人の情報を適切に管理し，保護することが必要である。
個人情報保護法は，個人情報の有用性に配慮しつつ，個人の権利や利益を保護することを目的として，個人情報を収集する個人情報取扱事業者の義務などを規定している。
次の情報（イ～ホ）のうち個人情報保護法における個人情報に該当するものを全て挙げたものは，［キ］である。

イ　生年月日
ロ　電話帳に載っている氏名と住所，電話番号
ハ　ショッピングサイトの購入履歴
ニ　個人が識別できる防犯カメラの映像
ホ　個人が識別できる通話の音声データ

選択肢

① イ，ロ，ハ，ニ，ホ
② イ，ロ，ニ，ホ
③ イ，ニ，ホ
④ ロ，ニ，ホ

(2) 個人情報保護法では，本人に対する不当な差別や偏見などの不利益が生じないように，その取り扱いに特に配慮を要する個人情報が，要配慮個人情報として定義されている。
次の情報のうち要配慮個人情報に<u>該当しない</u>ものは［ク］である。

選択肢

① 人種
② 信条
③ 社会的身分
④ 病歴
⑤ 学歴
⑥ 本人に対して医師等により行われた健康診断等の結果